

田園産業都市・安曇野の土台作りの総仕上げと さらなる飛躍に全力を尽くします

10月6日の安曇野市長選で再選を果たした
宮澤宗弘市長に2期目の抱負を伺いました。

これからも市民目線で
現場主義を貫きます

常に「現場主義」と「市民目線」で生活者の立場で考えること」を政治理念として、これまで田園産業都市・安曇野を目指してきました。今、再び市民の皆さんからの温かい励ましとご支援をいただき、2期目の市政のかじ取りという重責を担うこととなりました。あらためて身が引き締まる思いです。

「日本一の安曇野」に
さらなる飛躍を目指して

―2期目に取り組む施策
後期基本計画3つの柱

市議会をはじめ、市民の皆さんのご協力により、三郷トマト栽培施設問題をはじめ新本庁舎



2期目の初登庁（10月23日）

建設や土地利用ルールの統一などこれまで懸案事項となっていました課題について、1期目に道筋をつけることができました。残った継続課題に取り組むとともに、市の将来都市像に掲げる「北アルプスに育まれ 共に響き合う 田園産業都市 安曇野」の実現に向け、後期基本計画の3つの重点施策「活力あふれるまちづくり」、「健康長寿

のまちづくり」、「豊かな人を育むまちづくり」に沿った事業を進めていきます。

活力あふれるまちづくり

―産業振興で雇用の場の確保を図り、活力あふれる安曇野に

有明の温浴施設周辺一帯の健康エリアや北アルプスの眺望を楽しめる東山エリア、清流に心洗われる水辺エリアなど、安曇野が世界に誇れる観光資源を整備して滞在型観光・山岳観光の振興を図ります。また、農業振興を図り、安全安心な安曇野の農産物の市場価値を高めて「安曇野ブランド」が日本一となる農業を目指します。



健康長寿のまちづくり

―積極的な健康づくりで
市民の健康増進を

本年度は福祉関連予算が約2億円増加しており、今後は市予算の約3分の1は、これらの予算が占めることが予想される現状です。継続して健康診断や医療・介護予防の充実を図るとともに、職員も地域に入っ一緒に汗をかきながら、市民の皆さんが、いつまでも、生き生きと元気に毎日を送ることができるよう、ウォーキングコースの整備や健康体操の普及、各種スポーツ振興と健康指導などに力を入れ、医療費等の抑制に努めます。

豊かな人を育むまちづくり

―教育や子育て支援の充実と
地域の人づくり

安曇野の未来を担う子どもたちがさまざまな分野で県内・日本一を目指す意欲的、国際的な視野を持ち、地域の伝統・文化を大切にする心を育む豊かな人づくりを進めるとともに、保育園整備など子育てのしやすい環境作りも併せて行っていくま

す。また、行政と区の協働のまちづくりを進め、83区の皆さんと共に地域の課題解決に向け取り組めます。



徹底した行財政改革と
サービスの向上を推進

少子高齢化の急速な進展による、生産年齢人口の減少とともに縮小する経済情勢を見据えて、徹底した行政改革により無駄を排し、経営的な視点と新たな発想による堅実な財政運営を推進します。また、平成27年には市民の皆さんのよりどころとなる新本庁舎が完成します。本年公表した「公共施設白書」をもとに市の施設の統廃合など再配置を進め、行政サービスの効

次代の安曇野に向けて

―10万人都市の実現と
一体感の醸成を

全国でも類を見ない5町村の対等・新設合併を果たして、ようやく9年目の安曇野市。市政10周年に向けて、市の後期基本計画を着実に実行するとともに「北アルプスに育まれ 共に響き合う 田園産業都市 安曇野」を創り上げるために人口10万人都市の実現を目指し、さらなる市の一体感の醸成を図ります。安曇野の伝統文化、豊かな自然を守りつつ、安曇野らしい産業振興を図り活力あふれる田園産業都市安曇野を次代へ引き継ぐために、今後も職員と一丸となり、市政運営にまい進していきますので、市民の皆さんのご支援、ご協力をお願い申し上げます。